みんなの広場

聖火について

（市議会議長）沢村武一

オリンピック東京大会聖火リレーは、去る十六日わが南国市を通過しました。当日は当市の若人六十九名によって市内をリレーされたが聖火を見んものと沿道はかつてない沢山の人出で、心からの歓迎振りでありました。それもオリンピックの聖火を再び見ることがないからでしょう。

さて、この聖火の起りですが、オリンピック競技は古代オリンピック競技と、近代オリンピック競技に別れます。古代オリンピック競技は、紀元前七七六年から紀元三九三年ローマ皇帝が禁ずるまで続いています。古代ギリシャには大きな競技が四つあった。その内でオリンピック競技が最大のものでオリンピア（南方ギリシャの海岸で一つの聖域）で競技が行なわれました。

このオリンピック競技はゼウス（オリンピアの神々の内の大神で人類の父であると云われている）の大神の神霊を慰めるための奉納競技として、極めて厳粛に行なわれ、その時神前に火を上げその火勢のもとで競技が行なわれているそれが聖火の起原であると考えられます。

近代オリンピック競技は、紀元一八九四年フランスの教育家クーベルタン男しゃくが古代オリンピック祭にみならってこれを国祭的にし、各国青年の心身の鍛錬、運動精神の振興国際親善、世界平和に貢献を目標に創設され四年に一回開催今日に及んでいますが、荘厳な開会式に聖火の行事が加えられたのは、一九三六年の第十一回ベルリン大会からであって、古代オリンピックの発祥地オリンピアの神前で聖火を煙火に移し野を横切り、山を越え行程三〇五七キロ、七カ国を通過しその聖火捧持者は三千余地に達したと云われています。その後もこの聖火行事は必らず加えられ今日に及んでいますが、今度の東京大会の如くその距離においてまた、通過国において更には参加者において多いこと世界一であって、国民の誇りであると信じています。

句集 柿の実

したたかに水打つ慣い夕来る　高石杜伎
雨止みてつい庭先に虹の立つ　安岡清子
朝涼の刻を大事に墨をする　大崎まさ子
椅子出して涼しき月に向ひけり　松浦智恵子
風鈴を吊りてよき風吹き入り来　岩村久恵
炎天下黙して夫婦ひえを抜く　清水弥生
梅漬けて離れ住む子を思いけり　橋本きよ女
カンナ燃ゆ塀に日蔭のなかりけり　川島青可
帰省の娘まじりにぎわう賑かな　溝淵なおい
ほろ酔の父走馬燈持ち帰る　太田陽子
せせらぎを聞きつつ更くるキャンプの夜　梅原暁子
炎天や影を落して揚羽飛ぶ　鈴江妃世子
我が売りし家に住む人青簾　新田雅子
小ささも同じ夫婦の墓涼し　公文東梨

技能競技大会への申込みを

技能労働者の技能習得意欲の増進と、技能水準の向上のため技能競技会がつぎのように行なわれることとなりました。

希望される方はふるってご参加下さいくわしいことは市の商工会（電話二二七四、有線一五八―一）へお問合せください。

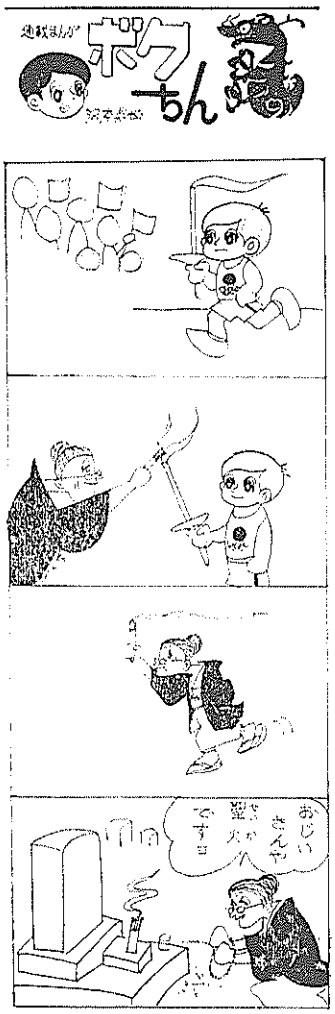
一、競技職種
鋳鉄鋳物工、ブロック建築工、建築大工、木型工、建築塗装工

二、参加申込受付
九月六日～一〇月九日

三、参加料
一級技能競技　二、〇〇〇円
二級技能競技　一、八〇〇円
何れも参加申込と同時に納入

四、競技日時
十一月一日～十二月十三日までの間に県が指定する日

五、競技課題
課題の全部と、その内容が十月五日に県職業安定課より公表されます。



編集後記

▽校正刷りができ、さて印刷というとき、まねかれざるお客様がみえてゴーストップ。

▽その名〝台風20号〟日本史上第四位、上陸時の風速72㍍、これまたびっくり第一位ときた。

▽市内のいたるところにその猛威は充分、次号までにはくわしく判ることだろう。

無料法律 人権相談所

毎月20日　中町公民館

人権擁護委員
敬治芳照
長直弥
橋田交
高島浜入
上野田岩浜村
瓶前田